

医療コミュニケーション(ロールプレイ実習)と生命倫理 (Medical communication and Bioethics)

【責任者/担当者】

〔兵庫医科大学〕 鈴木 敬一郎 副学長(内部質保証・多職種連携教育・ダイバーシティ担当)

【担当者】

〔医学教育センター〕 藤崎 和彦 特別招聘教授、中島 弘 特別招聘教授

【目的】

医療現場においては、医師对患者ならびに医療従事者間のコミュニケーションはきわめて重要である。病棟での前半の早期臨床体験実習で実際の医療現場を見学し、今後学外施設に赴く前にコミュニケーションの基本を学ぶ。また生命倫理・バイオエシックスについてもロールプレイ実習と講義を通じて学ぶ。

【科目キーワード】

「医療コミュニケーション(Medical communication)」「生命倫理(Bioethics)」「ロールプレイ(Role play)」

【到達目標(アウトカム)】

- ☐ 医療コミュニケーションを適切に行うことができる。
- ☐ 医療コミュニケーションの特殊性と重要性を説明できる。
- ☐ 生命倫理の諸問題を概説できる。
- ☐ ロールプレイ実習について、協調性を持って適切に行える。

【ディプロマ・ポリシーと授業科目の関連】

- ・安心・安全な医療に強い使命感と自律性を有し、優れた協調精神を持ってチーム医療の一員として社会の福祉に奉仕できる良医となるべき素養を有している。
- ・豊かな人間性と生命の尊厳についての深い認識を有し、人の命と健康を守り、社会の福祉に奉仕する医師としての職責を自覚し、地域並びに母校への帰属意識を有している。
- ・患者およびその家族の人権を守り、医師の義務や医療倫理を遵守するとともに、患者の安全を最優先し、患者の権利と生命の尊厳を守ることができる。
- ・人間の多様性を理解し、周囲の人々への温かい眼差しを持ち、共感できる豊かなコミュニケーション能力を有している。
- ・患者の痛み、苦しみ、悩みと機能障害を含め様々なハンディキャップを理解し、常に患者中心の立場に立つことができる。
- ・患者の持つ様々な問題点を科学的かつ統合的に捉え、的確に判断し解決できる応用力と問題解決能力を有している。

【概要ならびに履修方法】

講義ならびにロールプレイ実習を行う。

【準備学修ならびにそれに要する時間】

コミュニケーション全般について予習が望ましい。1 時間以上。

【成績の評価方法・基準】

出席、レポートならびに授業（ロールプレイを含む）中の態度にて行う。また小テストを行う場合もある。

ロールプレイによる実習を含んだ講義であるため全出席を原則とする。積極性のない学修姿勢、受講態度、遅延行為（指名されたのになかなか答えない、行動が遅いなど）は減点もしくは不合格とする。止むを得ない理由による欠席については、別途課題もしくは補習を課す。なお成績評価を受けるためには 90%以上の出席が必要である。

【学生への助言】

真摯な態度で受講すること。特にロールプレイ実習には積極的に参加し、真剣に取り組むこと。積極的に質問すること。レポートはグループごとに十分議論し、発表会では誰でも話せるように十分議論したうえで情報共有すること。

【フィードバック方針】

学外教員（特別招聘教授）のため、設定しない。

【オフィスアワー】

外部講師が中心のため設定なし。

【受講のルール、注意事項、その他】

時間区分の変更、ならびに時間延長の可能性がある。

なお、この科目は医師となる資質を涵養し、その成長を評価するための科目である。この科目外であっても医学生に相応しくない行動、態度があると思われた場合は、教務委員会等における審議を経て、受講不可もしくは不合格とする場合がある。

科目の一部は関学交流科目であるため、関西学院大学学生が科目等履修生として参加する場合がある。

【教科書】

特になし

【参考書】

「医療コミュニケーション—実証研究への多面的アプローチ」藤崎和彦、橋本英樹 編著
(篠原出版新社) 2009 年

【連絡先】

教育研究棟 教学課(0798-45-6161)